長谷寺 門前町

隠口(こもりく)の里

泊(はつ)瀬(せ)

版画:村田啓輔

まちづくりマップ

初瀬のまち

古代、初瀬の渓谷を「泊瀬(はつせ)小国」「隠口(こもりく)の国」とよび、心のふるさととしていた。平安時代には貴族の長谷寺詣が盛んとなり、町は伊勢参りとともに鎌倉末期から室町時代に門前町、宿場町としての姿をなしてきた。長谷寺は西国三十三所観音霊場で、牡丹など一年を通じて「花の御寺」と呼ばれ、紫式部、紀貫之、松尾芭蕉、高浜虚子、川端康成等、時代ごとの多数の文人たちが訪れ、今日も信仰の地、観光の地として賑わっている。

「泊瀬(はつせ)」の由来

「長谷寺縁起文」によると、初瀬川の上流に祀られていた毘沙門天の宝塔が川へ転げ落ち、やがて瀬の石の上に泊まった。

この石を「泊瀬石」と言い、現在の地名「初瀬」の起源である「泊瀬」の由来になったと考えられている。

催　事

○長谷寺の行事

- ·12月31日～1月3日　観音万燈会
- ·1月1日～1月7日　仁王会·修正会
- ·2月3日　節分会
- ·2月14日　だだおし法要
- ·4月中旬～5月上旬　ぼたんまつり
- ·10月上旬～12月上旬　もみじまつり

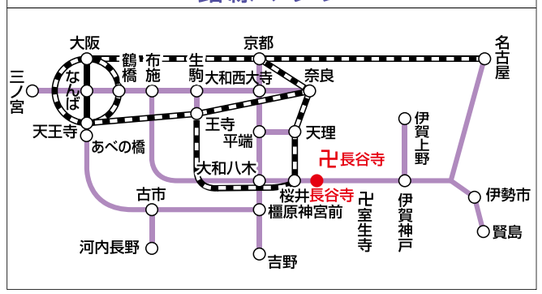
だだおし法要

与喜天満神社秋季大祭

○その他の行事

- ·大とんど(出雲、川上)　1月中旬
- ·素盞雄神社綱かけ祭り　2月13日
- ·茅の輪祭り(夏祭り)　7月13日
- ·与喜天満神社秋季大祭(10月第3土·日曜日)

路線マップ



平成20年度は、この3地区で作成しました。

竹ノ内 ⇄ 高田 ⇄ 初瀬

竹ノ内街道　横大路　伊勢街道

協働によるマップづくり

■このマップは、「NPO法人 泊瀬門前町再興フォーラム」と「なら·まちづくりコンシェルジュ(奈良県)」が協働で作成しました。
■平成21年(2009年)3月発行
■問い合せ先:
NPO法人 泊瀬門前町再興フォーラム(泊瀬長者亭)(TEL 0744-57-9280)
奈良県地域デザイン推進課　(TEL 0742-27-7515)

周辺広域案内

長谷寺駅↔長谷寺↔初瀬ダム↔笠山三宝荒神↔山の辺の道↔JR巻向駅
約14km　約5～6時間（徒歩）　（そば街道）

長谷寺駅↔長谷寺↔初瀬ダム↔鳥見山↔榛原駅　（東海自然遊歩道）
約12km　約4～5時間（徒歩）

長谷寺駅↔長谷寺↔十二柱神社↔白山神社↔大和朝倉駅
約4km　約1～2時間（徒歩）

くさ餅

出雲人形

初瀬のおみやげ

まちづくりマップ

隠口の里（こもりく）　泊瀬門前町（はつせ）

N

0m　100m

地図の上の1cmは30mです。

⑩法起院（ほうき）

西国三十三所番外札所。西国観音霊場巡礼を始めた徳道上人が晩年隠棲した寺と伝えられている。

⑪与喜天満神社（よき）

祭神は菅原道真。長谷寺の地主神、初瀬町内八ヶ大字の氏神である。この地に鎮座したのは平安時代（九四六年）で、天満神社としては日本最古である。現在の社殿は江戸時代（一八一八年）に長谷寺によって再建された建物である。

与喜山

大泊瀬山とか隠口長谷山といい、古来から樹木の伐採は禁じられてきた原生林で九五〇種もの植物が生育しており、植物の宝庫で与喜山暖帯林として国の天然記念物に指定されている。標高四五五m。

⑫素盞雄神社（すさのお）

祭神は天照大神の弟にあたる素盞嗚命で、平安時代（九七一年）の鎮座と伝える。別に牛頭天王社とも言われている。例祭では茅の輪くぐりが行われ、頭屋制の祭祀組織が今も伝承されている。

⑬大銀杏

県指定の銀杏。推定樹齢八〇〇年、樹高四〇m、目通り約七、五mの大樹。銀杏は雌雄異株で、ここは雄株である。

⑭玉鬘庵跡（たまかずらあん）

源氏物語の玉鬘巻に登場する玉鬘庵の跡。連歌橋の東、石段の中程を左に入る所にある。

⑮的場家

商い／油屋
屋号／「福地屋」
建築年一八〇六年（文化三年、江戸時代）。

⑯連歌橋（れんが）

藤原定家一門が長谷寺から与喜天満神社へ歌を作りに行く時渡った橋。もとは太鼓橋であった。

⑰長谷寺

六八六年道明上人が長谷寺を開山。山号を豊山と号し、創建以来九度の罹災で消失と復興を繰り返す。現在の本堂は一六五〇年に再建されたもので、平成十六年十月に国宝に指定された。関係寺院三千ケ寺を有する真言宗豊山派の総本山として、また西国三十三所第八番札所として、檀信徒はおよそ三百万人、四季を通じて「花の御寺」として多くの人々の信仰をあつめている。

Ⓒ 長谷寺からの眺望

①大鳥居跡

明治四十一年（九〇八年）台風によって倒壊したが、その礎石が残り、一八四一年建立された燈籠二基も残っている。

②金毘羅（こんぴら）神社

初瀬新町の氏神である。本殿、拝殿、狛犬一対、朱塗りの金鳥居がある。昭和三十四年の社殿造営に際し、弘化三年と慶応二年の棟札が出現している。

③長谷山口坐（います）神社

延喜式の「式内大社」で、「大山祇神」を主神とする大和六所山口神の一つで、水神である。また手力雄神も祀られている。平安時代には（八五九年）従五位下に叙れている。

④廊坊（ろうのぼう）家

長谷寺の俗別当を務められていた。
建築年築不詳　一六〇〇年代後期（江戸時代）。

⑤山田家

国の登録有形文化財（建物六棟）。
建築年一八三〇年。

⑥伊勢辻（いせつじ）の道標

伊勢辻とよばれるところに、一七二六年建立の道標がある。「西面・右いせミち、南面・右くわ音／左なら大坂道、東面・左いせミち、北面・伊勢辻石工桜井与助」と刻まれている。

⑦芭蕉の石標

石標崇蓮寺の境内に松尾芭蕉翁の古毛里塚の石標【春の夜やこもりどゆかし堂の隅】がある。

⑧田中家

本陣、脇本陣を務めた家。
屋号／胡麻屋
建築年築不詳　一八〇〇年代初期（江戸時代）。

⑨白髭（しらひげ）神社

七四九年十月十五日鎮座。猿田毘古命と妻の天宇豆賣命で、本殿から長谷寺が正面に見える。

Ⓐ 愛宕山からの眺望
正面に長谷寺が見える隠れスポット

Ⓑ 与喜天満神社参道からの眺望
初瀬のまちなみ

散策モデルルート

初瀬観光センター ― ①大鳥居跡 ― ②金毘羅神社 ― 近鉄長谷寺駅

駅への分岐 ― ③長谷山口坐神社 ― 愛宕山 ― ⑪与喜天満神社 ― ⑫素盞雄神社 ― ⑬大銀杏 ― ⑯連歌橋 ― ⑥伊勢辻の道標 ― ⑦芭蕉の石標 ― ⑨白髭神社 ― ⑩法起院 ― 桜の馬場 ― ⑰長谷寺